

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
221331063	栄養教育論Ⅱ Nutrition Education Theory II	田中優成			2	必修	3前期

科目の概要

管理栄養学科のディプロマポリシー（DP2、DP3）である管理栄養士に必要な疾病・疾病予防・食育に関する専門知識・技能を身に付け、豊かな食生活と健康を創造することができる人材を育成する科目として設定している。栄養教育論Ⅰで修得した知識に加え、栄養教育論Ⅱでは対象者のライフスタイルや食環境まで含めた解決策を考える知識と技能を磨く。ライフステージ別に異なる栄養教育について理解し、管理栄養士としての実践する能力を身につけることを目的とし、栄養アセスメントに基づいた栄養教育計画を立案する能力を習得することで、それらを活用して具体的に計画に基づいた栄養管理・栄養指導を展開する方法を習得する。

学修内容	到達目標
① 食行動や食環境に関する情報収集の方法や分析の方法を学ぶ ② アセスメントから適正な栄養教育の立案方法を学ぶ ③ ライフステージ別の栄養教育のポイントを学ぶ ④ 対象者による栄養教育の違いを学ぶ ⑤ ライフスタイルや環境の異なる対象者に対し、一律でなく、オーダーメイドの栄養教育の必要性を学ぶ	① 食行動や食環境に関する情報の収集・分析方法について理解できる ② 適切なアセスメントを行うことができ、それに沿った栄養教育を選択できる ③ ライフステージに応じた栄養教育のポイントを理解し、それぞれの違いについて説明できる ④ 対象者によって栄養教育の方法・手段などが異なることを理解し、それらの違いを説明できる ⑤ ライフスタイルや環境の異なる個人にあわせたオーダーメイドの適切な栄養教育を行うことができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	自分がやるべきことを見極め、自発的に取り組むことができる
	働きかけ力	
	実行力	成果に喜びを感じ、目標達成に向かい粘り強く取り組みを続けることができる
考え抜く力	課題発見力	現状を正しく把握し、情報収集や分析をして課題を明らかにすることができる
	計画力	
	創造力	従来の常識や発想を転換し、新しい解決策を生み出すことができる
チームで働く力	発信力	相手がどんな情報を求めているかを理解し、具体的にわかりやすく伝えることができる
	傾聴力	相槌や共感等により、相手に話しやすい環境を作るとともに、素直に聞くことができる
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	決められた締め切り時間やグループ内のルールを把握し、そのルールや約束を守ることができる
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

栄養教育論Ⅰで使用した教科書
 参考：糖尿病食事療法のための食品交換表（日本糖尿病学会）

他科目との関連、資格との関連

【他科目との関連】
 管理栄養士への道 健康管理概論 解剖生理学Ⅰ・Ⅱ 生化学Ⅰ・Ⅱ 食品学Ⅰ・Ⅱ 基礎栄養学Ⅰ・Ⅱ 食事摂取基準論 栄養管理プロセス論
 応用栄養学Ⅰ・Ⅱ 公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学実習 臨床栄養学Ⅱ・Ⅲ 臨床栄養学実習 栄養教育論Ⅰ 栄養教育論実習Ⅰ

【資格との関連】
 管理栄養士 栄養士 栄養教諭

学修上の助言	受講生とのルール
栄養教育Ⅰで学んだ行動変容技法や応用栄養学Ⅰ・Ⅱで学んだライフステージによる違いを基本にしながら対象者によって異なる栄養教育を理解しましょう。同じ年齢でも個々の行動変容ステージや環境、性格等によりオーダーメイドの教育が必要になります。	他科目との関連が非常に重要になるため、必ずこれまでに学修した内容を復習しておきましょう。また、小テストは講義をきちんと聞いていないと解答できない内容となるため、しっかり勉強して臨むようにしましょう。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	60	①	✓	<p>【持ち込み可】</p> <p>毎回の授業の中で、理解すべきポイントが身についたかどうか小テストなども参考にしながら作成する筆記試験にて評価する</p> <p>※試験に持ち込めるのは授業で使用したPCRシート兼授業ノートで確認済印が押されているものに限り、授業スライドや小テスト等の持ち込みは一切禁止する</p>	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
	平常評価	小テスト		20	①	✓	<p>テスト1 ライフステージ別栄養教育 乳児期・幼児期～成人期</p> <p>テスト2 ライフステージ別栄養教育 高齢期～傷病者・障害者</p> <p>上記計2回（各10点）の小テストを実施し、それまでのポイントをきちんと理解できているかを確認する</p>
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
		レポート		10	①		<p>授業時に作成する指導案を参考にして、同様の指導案作成に取り組む。その点数を平均して評価する。</p> <p>評価観点は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室名が明確で参加したくなるような工夫が見られる。（1点） ・目標設定が正しく記載されている。（5点） ・内容が導入・展開・まとめに明確に分かれている。（1点） ・導入で対象者が問題者意識を持つことができる。（1点） ・誰が見ても同様の指導ができるように記載されている。（1点） ・適切な教材・媒体を使用している。（1点）
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<p>（主体性）PCRシートを用いて授業の最初に先週の授業が理解できたかを問うことで評価する</p> <p>（実行力）自分がやるべきことを見極め、自発的に取り組むことができているか評価する</p> <p>（課題発見力）自分の理解できなかったところを発見し改善できているか評価する</p> <p>（創造力）固定概念に捉われないことなどいろいろな視点から考えているか評価する</p> <p>（発信力）グループ間で意見交流をし、自ら考え自分の意見を言えているか評価する</p> <p>（傾聴力）グループ間で意見交換をし、他人の意見を聴いているか評価する</p> <p>（規律性）時間やその時にやるべきこと等決められたルールが守られているか評価する</p>		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
対象者に応じた栄養教育を立案及び学修した知識を使って適切な栄養教育の実施ができる。また、適正な栄養教育のポイントをまとめることができ、学修成果及び学修行動の得点率が90%以上をS、80%以上をAとする。	適正な栄養教育のポイントをまとめることができ、学修成果及び学修行動の得点率が70%以上をB、60%以上をCとする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「オリエンテーション」 授業の運営、目標、評価方法等を理解し、栄養教育の種類と特徴・栄養教育のためのアセスメントを学修する	講義	栄養教育の種類と特徴、アセスメント項目について理解する	予習：栄養教育の種類や手法を見直す 復習：アセスメント項目についての確認	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	「栄養教育のための課題の抽出」 栄養教育を行う前に必要なことを学修する	講義 Google Classroom	栄養教育を行うために必要な課題を抽出することができる	予習：課題を抽出するためにどのような方法があったかを見直す 復習：実際に自身の住む地域の課題抽出を行い必要な栄養教育を考える	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	「食事調査の種類と実践」 栄養教育を行うにあたり、必要な食事調査について学修する	講義 Google Classroom ペアワーク	食事調査の種類を学び栄養教育時に必要な食事調査を理解し、実践できる	予習：栄養教育するうえでどんな食事調査が必要か、また栄養量の計算がすぐできるようにしておく 復習：有効な調査内容を確認する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	「個人指導と集団指導における栄養教育」 対象によって異なる教育の違いを学修する	1～3週の内容をGoogle Formsを用いた小テスト&フィードバック 講義 Google Classroom	個人への栄養教育、集団への栄養教育の計画立案ができる	予習：集団に対する教育と個人に対する教育の違い、役割について教科書から理解しておく 復習：計画立案を見直す	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	「ライフステージ別栄養教育（妊娠期・授乳期）」 妊娠期・授乳期の特徴・アセスメント項目・栄養教育のポイントを学修する	講義 Google Classroom	妊娠期・授乳期の特徴と栄養教育との関係性がわかる	予習：妊娠期・授乳期の特徴を理解しておく 復習：栄養教育のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	「ライフステージ別栄養教育（乳児期・幼児期）」 乳児期と幼児期の特徴・アセスメント項目・栄養教育のポイントを学修する 離乳食教室について学修する	講義 Google Classroom	乳児期・幼児期の特徴と栄養教育との関係性がわかる	予習：乳児期・幼児期の特徴を理解しておく 復習：離乳食教室の栄養教育のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	「ライフステージ別栄養教育（学童期）」 学童期の特徴・アセスメント項目・栄養教育のポイントを学修する	講義 Google Classroom	学童期の特徴と栄養教育との関係性がわかる	予習：学童期の特徴を理解しておく 復習：栄養教育のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	「ライフステージ別栄養教育（思春期）」 思春期の特徴・アセスメント項目・栄養教育のポイントを学修する	講義 Google Classroom	思春期の特徴と栄養教育との関係性がわかる	予習：思春期の特徴を理解しておく 復習：栄養教育のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	「ライフステージ別栄養教育(成人期)」 成人期の特徴・アセスメント項目・栄養教育のポイントを学修する	講義 Google Classroom	成人期の特徴と栄養教育との関係性がわかる	予習：成人期の特徴を理解しておく 復習：栄養教育のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	「ライフステージ別栄養教育(高齢者)」 高齢期の特徴・アセスメント項目・栄養教育のポイントを学修する	5～9週の内容をGoogle Formsを用いた小テスト&フィードバック 講義 Google Classroom	高齢期の特徴と栄養教育との関係性がわかる	予習：高齢期の特徴を理解しておく 復習：栄養教育のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	「ライフステージ別栄養教育(アスリート)」 アスリートの特徴・アセスメント項目・栄養教育のポイントを学修する	講義 Google Classroom	アスリートの特徴と栄養教育との関係性がわかる	予習：アスリートの特徴を理解しておく 復習：栄養教育のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	「ライフステージ別栄養教育(傷病者・障害者)」 傷病者・障害者の特徴・アセスメント項目・栄養教育のポイントを学修する	講義 Google Classroom	傷病者・障害者の特徴と栄養教育との関係性がわかる	予習：傷病者・障害者の特徴を理解しておく 復習：栄養教育のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	「病院・高齢者施設における栄養教育」 病院や施設の特徴に応じた栄養教育の方法を身につける	10～12週の内容をGoogle Formsを用いた小テスト&フィードバック 講義 Google Classroom	病院や高齢者施設で必要な栄養教育の内容と実践方法についてわかる	予習：病院や高齢者施設とはどのような施設かを考えてくる 復習：栄養教育のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	「地域における栄養教育」 病院や施設の栄養教育との違いについて学び、地域における栄養教育の方法を身につける	講義 Google Classroom	病院や施設の栄養教育との違いについて理解できる	予習：病院や施設の栄養教育を理解しておく 復習：栄養教育のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	「まとめ」 各アセスメント項目・課題の立案・栄養教育の方法を確認する	講義 Google Classroom	それぞれのライフステージによる違いを説明できる	予習：理解できない項目を調べておく 復習：ライフステージによる栄養教育のポイントの違いをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力